

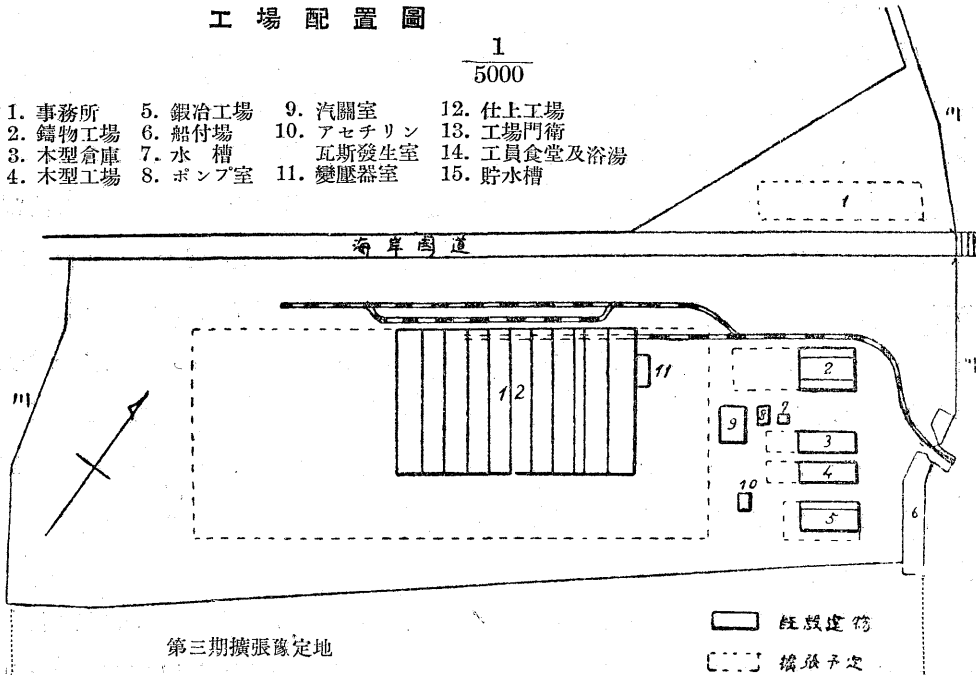
なり。]

第一期工事 當初の計畫は頗る大規模のものなりしが財界の状態と製品の需給關係にかんがみ差し當り現在の第一期計畫を完成せしめ多量生産に非ずんば安價に之を仕上ぐることを得ざる製品に就ては暫くシーメンス社各工場の機能を利用し部分品乃至半製品を供給せしめ近き將來一般需要の趨勢に應じ漸を追て工場の擴張を圖らんとする方針を採れり。従て第一期計畫（圖面實線の示す如し）たる現在設備は其建家面積より見れば甚だ小規模の觀あり、然れども後述するが

工場配置圖

1
5000

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-------------|
| 1. 事務所 | 5. 鍛冶工場 | 9. 汽關室 | 12. 仕上工場 |
| 2. 鑄物工場 | 6. 船付場 | 10. アセチリン | 13. 工場門衛 |
| 3. 木型倉庫 | 7. 水槽 | 瓦斯發生室 | 14. 工員食堂及浴湯 |
| 4. 木型工場 | 8. ポンプ室 | 11. 變壓器室 | 15. 貯水槽 |



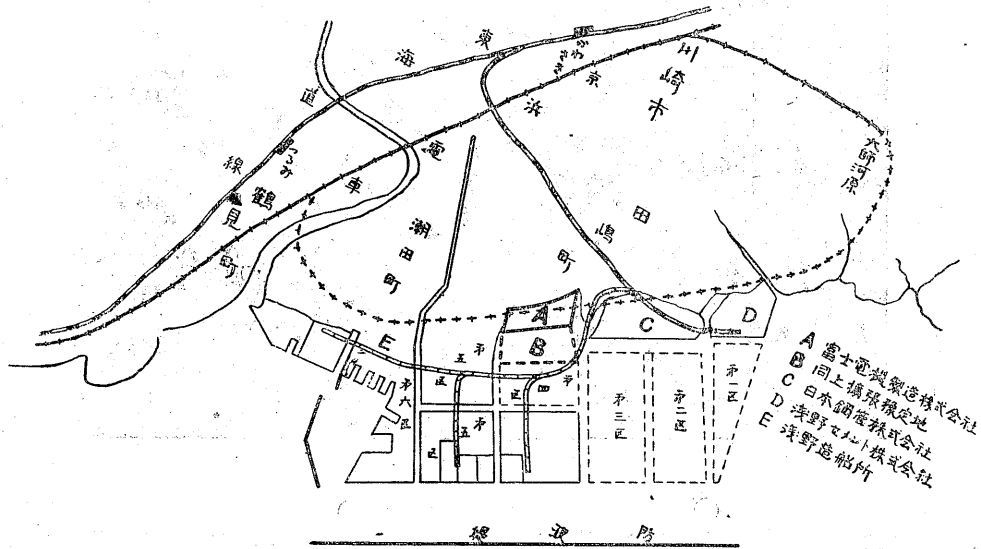
如く其設備、機械の配置、製作工程其他工場全般に涉りて拂はれたる細心の注意は極度の能率を發揮し得べく、既定計畫たる第二期工事（圖面點線の示す如し）完成後も既存製作、試験其他運搬貯藏等の各系統を何等混亂せしむることなき様注意設計せしものなり。

工場の位置並に交通

位置 川崎海岸、東京横濱の中間の新工業地帯中優秀の地を占め、川崎鶴見各驛より約二十、五町東西南は運河を隔てて東京灣埋立地に接し、北部は七間幅の新縣道に面接す。敷地は舊提防地並上更に三尺以上の盛土を爲し以て完全なる安全地帯ならしめたり。

海運 運河は幅員三十間、水深干潮面下十五尺、満潮時更に五尺三寸を増す。三十分にして横濱港に達す。東京に向ふ海運亦便なり。近き將來京濱運河完成の暁は更に至便安全を加ふ可し。

陸運 省線濱川崎驛迄半哩、今夏完成すべき臨港鐵道白石町驛は工場敷地に近接して設けられ、且つ京濱電車海岸線は工場正門前に停車す可し。斯くして近く陸運は海運と相俟つて茲に完全なる交通網を織成す可し。



富士電機川崎工場附近略圖

工場設備の大要

工場の設計 當工場の設計に當りては現工場副長取締役梶山秀男氏獨逸に出張し親しく「シーメンス社設計部長プロフェッソル、ライヘル」並に「前英國シーメンスブラザースダイナモ工場長キーファー」(現在当社取締役工場長)の兩氏に就き熟議を重ね多年の経験と研究を有するシーメンス諸工場中最新にして最特長ある工場の粹を抜き設計せしものなるを以て其設備の完全なるを確信するもの也。

而して其建築用材並に工場据付機械等はシーメンス社の深甚なる注意と研究の下に當時獨逸に於ける物價と我國との爲替關係に鑑み殆んど其總てを獨逸に於て購入せり。加之ず是等材料一切は偶々震災後の建築材料輸入税免除の期間に輸入したるものなるを以て頗る安價なるを得たり。工場敷地も亦數年前早くも古河電工が安價に買収せるものにして是等の諸事情相合して當工場は時價に見積らば約二倍強の設備實質を具備するものと云ふを得べし。

地盤 砂層二十五尺下に厚き砂利層あり、松丸太を地下十五尺下迄打杭し最大過重平方尺に就き一噸、平均半噸と計算して全建家敷地に荷重を分布し基礎工事を完全にせり。彼の大震災未曾有の試鍊に對し護岸基礎工事建家等の構造物に何等の被害なかりしは竊に誇とする所なり。

建家の構造 建築は總て鐵骨、鐵筋コンクリート壁、一部屋根に木材を使用したる以外、窓、



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。